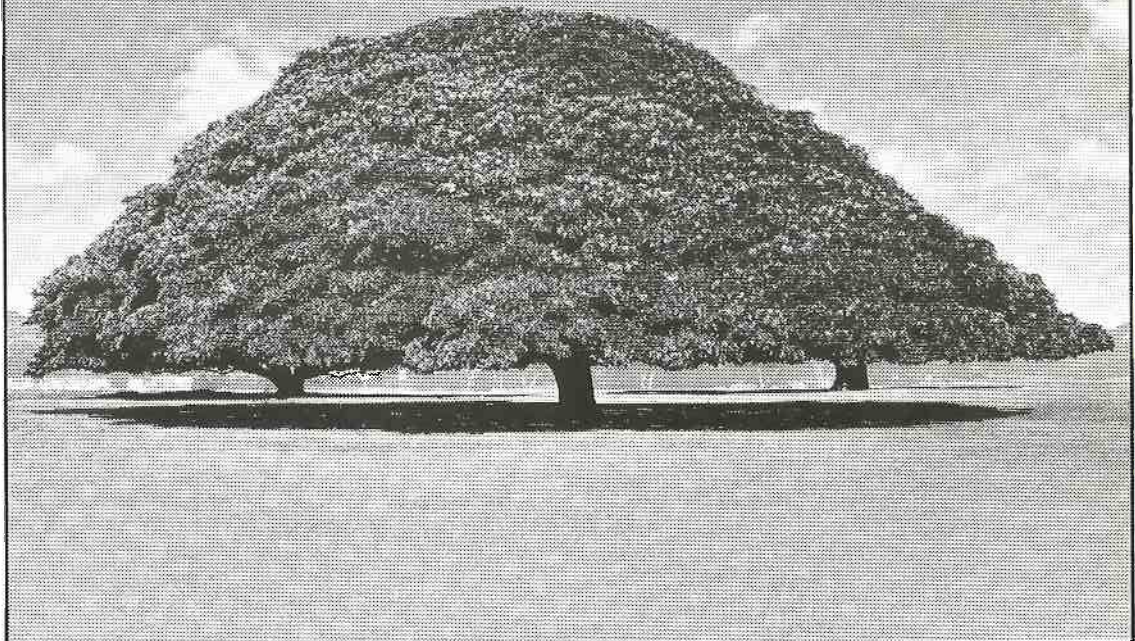


 **HITACHI**
— 技術の日立 —



最先端の技術を使って
暮らしに新しい便利さや楽しさを
ビジネスに創造性や高い生産性を実現すること。
それが、人と技術の理想をめざす
日立の「インターフェイス」の願いです。

Interface

インターフェイスは、「人と技術の理想をめざす」日立のスローガンです。

リードで終了。

後半、大阪もコンビが合ったし、ポスト、サイドから反撃し、残り7分で25-25の同点とし、白熱した試合になるが、個人のシュート力で上回る熊本が31-28で逃げ切った。

東京 29 (1613-107) 17 富山 (全富山)

〔戦評〕東京は立ち上がりスルスルと2得点しうまい滑り出しを見たが、その後の浮かしシュートを3本連続ミスをし、自らを苦しめた。富山はきの機にうまく得点をあげ互角にもちこむ。しかし力で勝る東京がじりじりと引き離し前半を終了。

後半も同じような展開を見せた。富山はGK須波が好守を見せ頑張ったが、東京の波状攻撃の前に涙を飲んだ。

得001101121721
山打波山浦井山田原原田川
〔校須中中沢栗西矢中金上堀〕

GK FP (審・鈴木和)

秋田 28 (1612-1312) 25 奈良 (わかき)

〔戦評〕両チームともバスマミス、シュートミスが多く、得点と失点をくり返し、12-12の互角で前半

を終了。

後半に入っても同様な展開であったが、秋田は後半なかばに4連続得点し、この試合の主導権を握った。奈良も最後までよく粘ったが、中盤の連続失点が響いた。

得00400031102140
奈良谷木本野林田丸田沼中
〔奈根々々〕 大佐森矢小上金村菅田

GK FP (審・田村)

田沼 山橋関山野橋部 藤
〔秋大〕 石高古高近高渡 菅 佐
得002401073011

2回戦

埼玉 34 (1816-912) 21 沖縄 (大崎電気)

〔戦評〕前半、埼玉が多様な攻撃で着実に得点をあげるのに対し、沖縄は全員よく動き、走り、速攻ポストプレーで得点をあげ、16-12と4点差で前半を終了した。

得00033122220170
縄嶺城島江嘉垣里原里場城
〔沖長新黒東名新宮高内新喜宮〕

GK FP (審・鈴木和)

玉内辺岡田藤田本斐田馬下
〔埼矢渡松和〕 大武首中山甲菅相宮
得002225522643223

後半に入ると、デイフェンスを固めて一気に勝負に出た埼玉が10分間で10点差にし、その後も着実に得点をあげて沖縄を突き放した。

愛媛 24 (1212-1110) 21 宮城 (東北学院)

〔戦評〕前半15分までは一進一退の攻防を展開していた。ミスの目立ちはじめに宮城は、愛媛の速攻によりリードを許し、前半12-10の2点リードで折り返す。

後半に入り、宮城は反撃に出るが、愛媛GKの好守にあつてなかなかリズムをつかめなかった。愛媛は宮城のミスをつまぐ速攻につなげ、3点のリードで逃げ切った。

得007523001030
城浦葉下藤井西場葉藤寺木野
〔宮松秋日佐菅小弓千加小佐今〕

GK FP (審・小友藤)

栃木 34 (1519-175) 22 岩手 (栃の薔)

〔戦評〕試合開始直後から両チームの特徴である速い攻撃の連続で見応えのある試合展開でスタートしたが、岩手の速攻は栃木GK石田の好守でなかなか得点にならな

い。それに対して栃木の攻撃は巧

みな攻撃でデイフェンスを惑わし、着実に得点を重ねる。

後半に入つて岩手も全く互角の戦いぶりを見せてよく頑張つたが、前半の点差が大きく及ばなかった。

得0072300002611
手田川川島川沢口田藤中館角
〔鎌多谷中及大山吉谷小柏岩〕

GK FP (審・田林)

木谷田田元下開井田 口西山
〔染石中四山新武川 滝小中〕
得00051600502611

京都 33 (2013-411) 15 山口 (京都)

〔戦評〕山口の先行でスタートするが、すぐに京都も得点してシーソーゲームとなった。両チームとも攻守に優れ、互いに譲らぬ展開となつたが、ミスと反則の差が得点に出て、13-11と京都が前半を2点リードする。

後半に入り、堅いデイフェンスからの速攻で5分過ぎには京都が

得00013443030010
山口村谷本兼 村井村川谷山
〔山吉古飯橋吉 岡原中日倉片〕

GK FP (審・後藤)

京都 33 (2) PT (2) 15

6点差とした。その後の山口の反撃を期待したが、前半とは対照的に京都の一方的なゲーム展開となつてしまった。

三重 39 (2019-107) 17 熊本 (本田技研)

〔戦評〕本田技研鈴鹿、熊本の本弟対決になったが、デイフェンスの力が一枚上手の三重がGKの好プレイもあり、立ち上がりから連続して速攻を決め、15分には12-1と大差がついてしまった。

熊本はセット・オフエンスからのシュートミス、バスマミスなどが目立ち、攻撃にやや雑な面が見られた。それに対し三重は、ミドルポスト、サイドと多彩な攻撃で、セットでもやはり一枚上の感は否めなかった。

得0000140222170
本尾本野田代村中口崎田中内
〔熊中宮矢荒三松田山川村田堀〕

GK FP (審・小笠原江成)

重木本砂基松木上藤屋村口本
〔高橋真梅平立尾内粟山田山〕
得00608443384221

愛知 34 (1618-106) 16 東京 (大同特殊)

〔戦評〕東京は愛知の高いデイフェンスを破れず、攻撃が単調になつた。愛知は田中の速攻、サイド高村のミドルシュートなどで着々

と加点、前半で大量リードを奪い勝負を決めた。

得002503150000
 京川田川島口坪藤口岡原村
 〔東田〕宇吉濱飯田大近山浜 吉河

GK FP〔審・大和〕

〔知〕村吉中井村生 石取木浜藤
 〔愛〕上秋田河高朝 明名植横佐
 得00110480314003

北海道 27 (1413 | 813) 21 香川

〔ほまき〕〔戦評〕香川が好スタートを切り一方的な展開になるかに見えたが、北海道はGKを交代させ、リズムを変えた。香川はポストパスにこだわり、インターセプトされ、連続速攻で北海道が逆転。その後一進一退をくり返し、13-13の同点で前半を折り返した。

後半に入っても10分まで18-18の同点であったが、北海道がパスカットから連続7ゴールをあげて試合を決めた。

得009112310004
 川谷田井口谷島里田辺山地区
 〔香〕大平亀谷泉高渡浜渡西宮松

GK FP〔審・小友〕

〔海〕本下浦山桑藤藤辺橋寺水崎
 〔北〕山木三米高佐佐渡高小清柏
 得00500038000173

27 (0) PT (1) 21

広島 40 (1822 | 104) 14 秋田

〔戦評〕技術、体力に勝る広島が試合開始30秒から12連続得点、秋田も14分に佐藤のロングで初得点。ポスト、サイドと果敢に攻撃するが、ディフェンスを崩すには至らず、前半を22-4で終了。

後半も試合の流れは変わらず、広島の一方向的なゲームとなったが、最後まで力を抜かずにプレーした秋田の健闘を賞えたい。

得0305012300
 田沼山橋関山野橋部 藤
 〔大〕石高古高浜高波 佐

GK FP〔審・小笠原〕

〔鳥〕田藤巻原村田井川沢取原田
 〔広〕多井酒河玉堀新中長荷橋奥
 得002675156224

3 回戦

埼玉 54 (2221 | 57) 12 愛媛

〔戦評〕立ち上がり5分、愛媛は回り込み、ブラインドシュートで3-4と健闘した。しかし、地方に勝る埼玉は、固い守りとフットワークを使った多彩な攻めで、速攻、ロングで連続得点し、試合を決定した。

〔都〕下本府間本井辺田村藤水
 〔京〕山咲国久楠酒池西中西加清
 得0070050004231

22 (2) PT (2) 17

得000114032100
 媛内村川岡子福谷野田本谷中
 〔愛〕竹川石定金東関上川山関田

GK FP〔審・佐藤〕

〔王〕内辺岡田藤田本斐田馬下
 〔埼〕矢渡松和武首中山甲菅相宮
 得0044574309434

京都 22 (1210 | 710) 17 栃木

〔戦評〕開始早々京都の速攻が決まり、京都が好スタートを切った。その後もロング、カットインで加点、20分には9-5とリードを奪う。一方の栃木も15分過ぎから相手ミスなどから反撃、サイド、ミドルと連取、10-10の同点で前半を終了。

後半に入り一進一退の展開。20分に栃木の攻撃の雑さを京都が速攻に結びつけ、3点リードを奪うとGKの好守もあってそのまま逃げ切った。

得001050000920
 木谷田元下開井田 口西山
 〔栃〕柴石中四山新武川 滝小中

GK FP〔審・大河原〕

〔都〕下本府間本井辺田村藤水
 〔京〕山咲国久楠酒池西中西加清
 得0070050004231

22 (2) PT (2) 17

三重 28 (1414 | 107) 17 愛知

〔戦評〕日本リーグ勢同士の対決は、開始27秒に愛知・佐藤がGK顔面へのシュートで退場となる不穏な立ち上がり。8分に1-1の同点だったが、その後9分間愛知は無得点で、この間に8-1と大きく開いた。前半で退場4人と荒れた試合ながら、この後は一進一退、14-7と三重の7点リードで前半を終了。

後半、愛知のミスや三重GK橋本の好守で10分には20-8と大差がつく。その後は両チームとも互角の点の取り合いを見せたが、三重が大量点差に余裕をもって押し切った。

得001012080311
 知村吉中井村生 石取木浜藤
 〔愛〕上秋田河高朝 明名植横佐

GK FP〔審・馬場〕

〔重〕本本砂基松木上藤屋村口本
 〔三〕高橋真梅平立尾内粟山田山
 得001033522278000

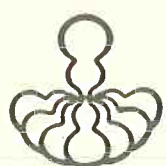
28 (3) PT (2) 17

広島 35 (1718 | 85) 13 北海道

〔戦評〕前半、広島は中川の速攻、奥田のサイドシュート、玉村のミドル、ロングで北海道を圧倒。一方北海道も佐藤の速攻で反撃するが、18-5で折り返す。

後半に入っても10分まで18-18の同点であったが、北海道がパスカットから連続7ゴールをあげて試合を決めた。

中村荷役運輸株式会社



創業71年

代表取締役社長 中村 昭光
 本社 〒108 東京都港区芝浦2-3-39
 電話 東京 (03) 451-4161(代)

入れ替えるが、最後まで手を抜かず好パフォーマンスから着実に加點北海道も地方の声援を受け、最後まで意地を見せたが、終始広島が力の差を見せつけ35-13で完勝した。

得0042051010000
 道本下浦山桑藤藤邊橋寺水崎
 北山木三米高佐佐渡高小清柏

GK FP (審・小友) (谷・藤)

得004221120046114
 島田藤卷原村田井川沢取原田
 〔多井酒河玉堀新中長荷檜奥〕

準決勝

埼 玉 31 (1714 | 811) 19 京 都 都

〔戦評〕前半、埼玉の動きが悪く、京都ミドル、速攻で得点をあげリードを奪う。しかし、埼玉もナショナルプレーヤーを中心に守りからリズムをつかみ、前半を14-11

得007340001211
 都下本府間本井辺田村藤水
 〔京山咲国佐楠酒池西西中加清〕

GK FP (審・馬場) (浜・田)

得0055422005208
 〔埼王〕内辺岡田藤田本斐田馬下
 矢渡松和大武首中山甲菅相宮

とした。後半は地力に勝るが、埼玉が攻守に京都を上回り勝利を飾る。

三 重 20 (713 | 915) 14 広 島

〔戦評〕日本リーグのトップチームの戦いとあってスタートから熱戦が広がられた。しかし広島は、再三のチャンスを三重のGKに阻まれ、逆に速攻、ポストプレーなどで三重に得点を許し、前半は三重の一方的なゲームになってしまった。

後半に入っても前半のペースのまま進み、三重の勝利で終わった。広島は、最後のノーマーケットミスが最後まで取り戻せなかった。

得0012600020003
 島田藤卷原村田井川沢取原田
 〔多井酒河玉堀新中長荷檜奥〕

GK FP (審・小友) (谷・藤)

得012005015510
 〔三重〕本本砂基松木上藤屋村口本
 高橋真梅平立尾内粟山田山

3位決定戦

広 島 19 (109 | 126) 18 京 都 都

〔戦評〕広島の先行でスタートし13分まで4-1とリードする。京都も国府のロング、速攻で追いかけるが、広島GKに井藤の好守に



埼玉のゴールを守った矢内

阻まれなかなか加點できない。残り6分、たて続けに2人の退場者を出し広島に対し、京都も必死に追い上げるが9-6で前半を終了。後半に入り、じりじりと追いつける京都は残り11分について同点に追いつく。その後白熱したシューティングゲームが続き、広島の1点リードで迎えた残り51秒、広島にミスが出て京都が速攻、反則、PTとなるが、GK井藤がキープ、広島が辛くも逃げ切った。

決 勝

埼 玉 22 (1012 | 1110) 21 三 重

〔戦評〕立木を軸にしてポストプレー、速攻で攻める三重に対し、埼玉は首藤、武田のロングシューティング、速攻で得点を重ね、前半は10-2と埼玉が2点リードして終了。後半に入り、10分に14-14と同点に追いついた。三重に対し、埼

得00220080005510
 都下本府間本井辺田村藤水
 〔京山咲国佐楠酒池西西中加清〕

GK FP (審・後藤) (島・田)

得0001566133102
 〔埼王〕内辺岡田藤田本斐田馬下
 矢渡松和大武首中山甲菅相宮

一瞬のきらめきと 積極果敢な チャレンジャー

誰もいないグラウンド、音のない体育館。そこにスポーツという魔法がかかると、一瞬のうちに興奮のつぼと化してしまう。

セノーも誇り高きチャレンジャー。より良質の素材を求め、より精巧な製品を生み出す努力と情熱は、世界中のプレイヤーの額に光る一粒の汗と同じです。

日本ハンドボール協会検定工場

Senoh®

本社/東京都千代田区神田司町2-7 ☎(03)292-5411

玉も速攻、ロングで突き放しにかかる。その後一進一退の展開を続けたが、残り3分を切ってから甲

成年男子2部 / 東京が優勝

1回戦

福岡 (全福岡) 25 (1312 159) 24 愛知 (下多島豊)	得003617331000 知井森井田井江西元村本尾森
長野 (全長野) 32 (1715 1510) 25 山口 (下関ク)	得0007824013000 山口春橋溝島浜岡原村梅吉中川
青森 (青森ク) 20 (1010 9) 17 群馬 (あかぎ之)	得00002124001220029 青森
長野 (長野) 32 (1) PT	得00002124001220029 長野片北青塩矢行中中小小岩鳥
福岡 (全福岡) 25 (1) PT	得00002124001220029 福岡田條口田崎賀藤田口野堤川

妻があげた1点を守り切ったが及ばなかった。結局、両チーム激しい点の取り合

には1点差まで詰め寄ったが及ばなかった。

一方山口もGKの好守、浜本の速攻、カットイン、原田のロングで反撃するが、後半に入り両チームともディフェンスが甘くなったこともあり点の取り合いとなる。

結局、両チーム激しい点の取り合

長野 (長野) 32 (1) PT	得00002124001220029 長野片北青塩矢行中中小小岩鳥
山口 (山口) 25 (1) PT	得0007824013000 山口春橋溝島浜岡原村梅吉中川
青森 (青森ク) 20 (1) PT	得00002124001220029 青森
群馬 (群馬ク) 17 (1) PT	得00002124001220029 群馬

お互いに相手に速攻を許すという

ような展開でなかなかペースをつかめなかったが、青森は7分頃からリズムが出はじめ、ポスト、サイド攻撃などでリードした。群馬も青森と同じようにポスト、サイド攻撃で追いつき2点で折り返した。

後半、群馬はリズムに乗り、今井の速攻などで逆転したが、寺山の負傷退場から青森に速攻を許し、サイド山本のプレーで差を広げられてしまった。青森の地力が一歩勝ったが、ともに攻撃力に決定を欠いていた。

青森 (青森ク) 20 (1) PT	得00013330015225000 青森内村洞本内村塚山村田藤田
群馬 (群馬ク) 17 (2) PT	得002020271005000 群馬口貫原沢山典川幸田井島木馬金井谷井根

大阪 (大阪ク) 28 (1) PT	得00013330015225000 大阪内村洞本内村塚山村田藤田
愛媛 (愛媛選抜) 25 (1) PT	得00013330015225000 愛媛

後半に入ると、大阪が7分まで

終盤ノーマークをはずすなど愛媛にミスが出て、大阪が逃げ切った。

大阪 (大阪ク) 28 (0) PT	得0046000056643 大阪野地志田山村田谷坂
福岡 (福岡) 27 (1) PT	得0046000056643 福岡森加竹合岩中長水田
沖縄 (沖縄選抜) 27 (1) PT	得0046000056643 沖縄
東京 (東京ク) 21 (1) PT	得0046000056643 東京

愛媛 (愛媛選抜) 25 (3) PT	得00001120004044 愛媛利嶺田方善花川井藤
東京 (東京ク) 21 (3) PT	得0020464041000 東京尾井井尾本成牧原木田
京都 (京都ク) 21 (3) PT	得0020464041000 京都中辻松高橋城岩御柴鈴坂
群馬 (群馬ク) 17 (3) PT	得0051442173112 群馬垣納平里本福城良城間念田

後半に入ると、大阪が7分まで

打ちこんでしまう性格です。

好きなことを、好きになだけやっているうちに、ここまで来た。
面白いなあ、くやしいなあ、うれいなど言っているうちに、ここにいた。
ボールいっこのあれば、夢中になれるボクたちは、きっと天下無類の幸せ者なんだ、と思います。

Tango
HSH3AD タンゴ3号 ¥6,000
●天然皮革 ●最高級品・手洗い
日本リーグ男子試合球

株式会社 **molten**
東京本社 東京都墨田区横川5丁目5-7 電話 03-625-7581
大阪・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・リノUSA・デュセルドルフWG



後半、勢いに乗る沖繩があつきり逆転、逆「J」点差まで一気に広げる。脚力に勝る沖繩が終始リードをキープ、最後まで足が止まらなかった沖繩の走り勝ちであった。

山梨 1614-1315 28 岡山

〔戦評〕立ち上がりより、両チームとも力強く、激しい攻防を展開。山梨・菊島と岡山・上野のロングシュートの打ち合いが目につき、前半は15-14と岡山の1点リードで終了。

後半も同様の展開となったが、8分岡山・上野の退場があり、この間に山梨が2点リードして試合の主導権を握った。

得0040513500010
山田清圭 篤山 野守川 田野塚山
岡野本 本 野
〔須板山 山中 上板 奥西 青大 奥〕

GK FP〔審・中加藤〕 PT
〔戦評〕三重は滑り出し快調に点数を重ねたが、20分過ぎ一息入れたところを東京にスキをつかれ、同点に追いつかれた。その後も一進一退をくり返したが、ラスト3分で速攻を連続して決めた東京が11-11とリードして前半を終了。後半は両チームとも譲らず一進

北 海道 1713-1312 25 宮城
〔はますく〕 30
〔宮城教員〕

〔戦評〕北海道が先制、宮城が追いかける展開となる。北海道はGK好守から速攻ペースをつかみ、次第に点差を広げ、一時は5点差とするが、宮城も粘り強く追いつけ、1点差で前半を終了。後半に入っても1点差を争う激

しい攻防が続いたが、残り10分で宮城に退場者が出てペースを崩し、5点差をつけて北海道が逃げ切った。

得00501000430084
宮城名 瀨木村 井島 上原 石葉 形川
〔春花 佐木 三福 村管 白千尾 石〕

GK FP〔審・矢横瀬〕 PT
〔戦評〕西屋・田橋屋沢木野・子藤、奥大古松鈴木・猪加、多森、猪加

東 京 14-11 26 三重
〔桜門之〕 27
2-1-12 2-1-2 (本田之)

〔戦評〕三重は滑り出し快調に点数を重ねたが、20分過ぎ一息入れたところを東京にスキをつかれ、同点に追いつかれた。その後も一進一退をくり返したが、ラスト3分で速攻を連続して決めた東京が11-11とリードして前半を終了。後半は両チームとも譲らず一進

得0000521323118
重野 實田 藤井 山井 野松 村本 野
〔三 細 新 西 佐 喜 吉 玉 矢 三 米 坂 田〕

GK FP〔審・中加藤〕 PT
〔戦評〕東京は速攻とワンフ

得00110000627434
〔東 山 尾 玉 采 宮 荒 春 高 津 納 藤 江〕
〔京 崎 沢 嶋 野 沢 井 木 野 兼 村 村 沢〕

一退をくり返し、結局同点のまま延長に入る。

延長前半、東京は速攻とワンフ

福 岡 27 1710-1311 24 長野 野

〔戦評〕長野・矢島と福岡・野田のロングヒッターを持ったチームの対戦。福岡が野田のロング

後半も一進一退の好ゲームを展開、残り10分に18-18の同点。こ

得0017250402006
野 田 桐 島 木 川 島 田 条 村 山 原 下 部
〔長 片 北 青 塩 矢 行 中 小 小 岩 鳥 笠 谷〕

GK FP〔審・中高野〕 PT

得0017250402006
〔福 山 濱 野 山 古 遠 藤 野 平 堤 川〕
〔岡 田 口 崎 賀 藤 田 口 野 堤 川〕

死に反撃するが、この3連続失点が重く、27-24で福岡が逃げ切った。

大 阪 27 12-12 7-7 4-0 21 青 森

〔戦評〕10分頃までは大阪・水谷のロングシュート、青森・米塚、大村のロングシュート、カットイ

後半開始早々、大阪は相手ミスに乗じて連続得点する。この差が

得0042204351000
〔青 森 内 村 洞 本 内 村 塚 山 村 田 藤 田〕
〔天 中 長 山 倉 木 米 張 大 山 伊 藤〕

GK FP〔審・中加藤〕 PT

得0017000022669
〔大 福 森 野 地 志 田 本 村 田 谷 坂〕
〔阪 田 奥 加 竹 合 岩 中 長 水 田〕

〔戦評〕山梨がポストプレーで先

山 梨 36 2016-148 22 沖 縄

〔戦評〕山梨がポストプレーで先

後半、沖繩はサイドシュートから

得002024332213
〔沖 繩 垣 納 平 里 本 福 城 良 城 間 念 田 恩 〕
〔新 東 佐 仲 伸 稲 大 高 金 仲 知 仲 〕

GK FP〔審・大和木〕 PT

得00524100731130
〔山 梨 功 藤 屋 建 茂 裕 瀬 川 澤 山 〕
〔江 菊 武 堀 藤 藤 島 古 佐 佐 菊 広 窪 中 平 〕

東 京 29 1712-1110 21 北 海 道

〔戦評〕立ち上がり両チームとも

初のリードを奪うと北海道もロング、ポストを織りませ、がぜん迫熱した点の取り合いとなった。結局、多彩な攻撃を見せる東京が一步抜け出して前半を終了。

後半も東京が藤村の好配球からサイド、ポストと幅のある攻撃を見せ、一度も主導権を渡さず逃げ切った。

得点	0	0	0	4	0	5	1	2	7	2	0
選手	山	尾	玉	采	宮	荒	春	高	津	納	藤
江	0	0	0	1	3	2	4	2	5	2	7
江	0	0	0	1	3	2	4	2	5	2	7
江	0	0	0	1	3	2	4	2	5	2	7

準決勝

福	岡	29	[1613 126]	18	大	阪
〔戦評〕	お互いに速攻は出るがミスが多く、セット力のある福岡が					

得点	0	0	1	6	0	0	4	1	3	3	0
選手	山	尾	玉	采	宮	荒	春	高	津	納	藤
江	0	0	1	6	0	0	4	1	3	3	0
江	0	0	1	6	0	0	4	1	3	3	0
江	0	0	1	6	0	0	4	1	3	3	0

点差をじりじりと広げていった。一方大阪もロング、ステップで追いかけるが、点差は縮まらず、13-6と大きく差がついて前半終了。後半に入り、福岡に速攻が出はじめ、GKの好守ともあいまって大阪を押し切った。

東	京	25	[1411 149]	23	山	梨
〔戦評〕	東京のテクニクと高さ					

得点	0	0	5	1	2	0	0	9	1	0	5	0
選手	山	尾	玉	采	宮	荒	春	高	津	納	藤	江
江	0	0	5	1	2	0	0	9	1	0	5	0
江	0	0	5	1	2	0	0	9	1	0	5	0
江	0	0	5	1	2	0	0	9	1	0	5	0

東	京	26	[1511 1310]	23	福	岡
〔戦評〕	東京は試合開始より常に先行し、速攻がよく決まった。一方福岡は浜口、野田のロングシュ					

3位決定戦

山	梨	28	[1315 155]	20	大	阪
〔戦評〕	立ち上がりから山梨が3					

得点	0	0	1	4	0	0	1	1	2	5	6
選手	山	尾	玉	采	宮	荒	春	高	津	納	藤
江	0	0	1	4	0	0	1	1	2	5	6
江	0	0	1	4	0	0	1	1	2	5	6
江	0	0	1	4	0	0	1	1	2	5	6

東	京	26	[1511 1310]	23	福	岡
〔戦評〕	東京は試合開始より常に先行し、速攻がよく決まった。一方福岡は浜口、野田のロングシュ					

得点	0	2	2	4	1	0	6	3	0	7	3
選手	山	尾	玉	采	宮	荒	春	高	津	納	藤
江	0	2	2	4	1	0	6	3	0	7	3
江	0	2	2	4	1	0	6	3	0	7	3
江	0	2	2	4	1	0	6	3	0	7	3



成年男子2部は東京が制す

得点	0	0	6	4	0	1	1	1	0	2	8
選手	山	尾	玉	采	宮	荒	春	高	津	納	藤
江	0	0	6	4	0	1	1	1	0	2	8
江	0	0	6	4	0	1	1	1	0	2	8
江	0	0	6	4	0	1	1	1	0	2	8

大阪シャンピアホテル
〒530 大阪市北区南扇町6-23代表 ☎06(312)5151

●料金(税込)
シングルA.....6,180円
シングルB.....6,540円
シングルC.....6,740円
ダブル.....12,360円
ツイン.....11,330円

名古屋シャンピアホテル
〒460 名古屋市中区錦2-20-5 代表 ☎052(203)5858

●料金(税込)
シングルA.....6,690円
シングルB.....7,100円
ツイン・ダブル 11,330円
トリプル.....14,630円

●赤坂シャンピアホテル ●岡山シャンピアホテル ●大阪シャンピアホテル ●静岡シャンピアホテル ●姉妹ホテル KOLON HOTEL 韓国(慶州) 東京事務所 ☎03(586)7571

★予約センター
東京予約センター ☎03(583)1001 大阪予約センター ☎06(312)1751
名古屋予約センター ☎052(203)5489 北海道予約センター<札幌> ☎011(232)3731
東北予約センター<仙台> ☎022(224)0078 北陸予約センター<金沢> ☎0752(40)0890
防府予約センター ☎0835(21)6601 九州予約センター ☎092(714)3581

1トで追いかけるが、なかなか4点差を縮めることができない。一方山梨は、次第に速攻が出はじめ、リードを広げて逃げ切った。

得007110120100
知本住木永栗倉上尾藤田斐木

GK FP (審・田中) PT (1) 13

〔山梨〕山藤松崎道沢沼林寺原田岸
〔丸工〕丸工小嶋海松黒小江鶴山
得002225121002

熊 本29 (191017) 16京 都

〔戦評〕前半、京都が速攻で先制2点をリードするが、熊本も速攻を中心にロング、ステップと攻撃し逆転、10-9と1点をリードして折り返す。

後半に入ると、速攻を中心に1トを走り回る熊本が連続して得点し、京都のディフェンスの足が止まると高い位置からのロングシュートを決める。京都はセット中

得000250021132
都添圭野上尾田辺井橋 上真
〔京〕山本
〔山〕山矢池中藤渡酒小 井山

GK FP (審・錦織) PT (1) 16

〔熊本〕島川田内山津田嶋本藤村嘉
〔川前〕川前横山中武古野橋斉石比
得001074230137

29 (2) PT

心でポストプレーとカットインで攻撃するが、走力、パワーの差が出てしまった。

3位決定戦

愛知 21 (111017) 18京 都

〔戦評〕15分までは京都が速攻やポストシュートなどで得点しゲームを優位に進めていたが、愛知も末永のロングシュートやサイドシュートで反撃し、前半は11-10と1点差で終了する。

後半、愛知は3点を連取して逆転、そのまま勢いに乗るかと思われたが、京都もポストシュートで得点し一進一退が続く。10分過ぎに京都に退場が続き、その間に19-14と差がつく。その後京都もよく追いつけたが及ばなかった。

得0011140014043
都添圭野上尾田辺井橋 上真
〔京〕山本
〔山〕山矢池中藤渡酒小 井山

GK FP (審・矢澤) PT (0) 18

〔愛知〕本住木永栗倉上尾藤田斐木
〔岡西〕岡西荒末小坂道松進野甲高
得004441011164400

決勝

山梨 21 (1011127) 19京 都

〔戦評〕互角の立ち上がりだった。15分過ぎから山梨はサイド、ロング、カットインと連続5得点をあげ、11-7と4点をリードして前半を終了。

後半に入り、開始早々熊本が連続速攻を決めて逆転、会場は一気に盛り上がった。その後全くの一进一退の展開であったが、残り3分で山梨・海道のロングシュートがほぼ試合を決定づけた。熊本も粘りを見せたが惜しくも及ばな

少年男子 / 東京が優勝

1回戦

東京 25 (8-9) 11-10
山梨 22 (2-2) 11-10
山口選抜 (山口選抜)

〔戦評〕開始直後山口が先制点をあげ、ディフェンスの良い山梨のペースで終始試合が進む。東京も徐々に力を発揮、9-8の1点差

得00502444300
山口牧山村谷井村井丸本中本
〔山口〕三
〔山梨〕三亀田藤藤中藤五浅広坂

GK FP (審・高野) PT (3) 22

〔東京〕山林島井藤代島戸沢橋藤
〔梶小〕梶小五金遠田野戸島高佐
得0013020000490

25 (2) PT

得000061030009
本嶋川田内山津田嶋本藤村嘉
〔熊本〕川前横山中武古野橋斉石比

GK FP (審・齊藤) PT (1) 19

〔山梨〕山藤松崎道沢沼林寺原田岸
〔丸工〕丸工小嶋海松黒小江鶴山
得00221333003009

21 (3) PT

で前半を終了。

後半に入り、東京もペースをつかんだかと思われたが、シュートが思うように決まらず、19-19の同点で辛くも延長戦に入る。延長に入り、1点を争う戦いであったが、東京が2点差をつけて辛うじて逃げ切った。

石川 20 (101018) 14大阪
〔石川選抜〕

〔戦評〕前半のミスが得点に響いて大阪は6点、石川は相手の弱点をつかみ、高島のフェイントからのシュートを中心に上手にセットからの攻撃をまとめ、チームのリズムをつくって10点をあげた。

後半、大阪はディフェンスを堅め必死に食い下がって1点差まで追い上げたものの、石川の攻撃の流れを食い止めることができな

召しませ自然。

シャトレゼのお菓子は山梨育ち。日本一の果実郷と極上の酪農地帯です。澄んだ空気と豊かな自然を、満載しています。そして、日本中をおいしい笑顔でみたそうとシャトレゼのフレッシュミュー、ソフトボール部ともども、21世紀に向けて、さらに大きく飛躍しようとしています。



株式会社シャトレゼ
山梨県東八代郡中道町下曾根3440-1 〒400-15
電話(0552)66-5151(大代) FAX(0552)66-5156

得001133103200
 阪野田林川田田 山地井屋田
 大菊福小大真吉 東 大宮中森安

GK FP (審・江成) 小笠原

得002321144300
 川島寺壁橋村谷井多島本村
 石藤小大北中菊石藤高松奥 東

愛媛 20 (19-11) 15 秋田選抜 (新居浜工)

〔戦評〕愛媛はスタートから速攻ミドルシュートと好スタートを切ったが、10分過ぎからリズムを乱しなかなか点にならなくなった。その間秋田はサイド、ポストから得点、前半1点をリードして終る。後半、秋田はいりリズムでスタートしたが、10分過ぎ愛媛に同点にされてから歯車が合わなくなりなかなか得点にならなくなった。一方愛媛は、同点に追いついてから速攻、ミドル、ポストと着々と得点を重ね、秋田の追い上げをふり切った。

GK FP (審・武田) 錦織

得006210024000
 秋田嶋井田田橋藤橋原坂田橋
 〔下〕照本松高佐高藤小土高

愛知 21 (13-11) 19 熊本商 (愛知選抜)
 〔戦評〕愛知の先行で始まり、13分過ぎまで一進一退のゲームが続いた。熊本も速攻とポストで一時間点となったが、13-8と差をつけられ前半を終了。

GK FP (審・江成) 小笠原

得0003010023010
 知木内羽田頭子水山本内井藤
 愛堀地丹石鬼金清青橋山中近
 得003214402131

岡山 26 (115-11) 19 北海道 (岡山選抜)
 〔戦評〕立ち上がり両チームともミスが多かったが、固さが見られる北海道に対し、岡山はサイド山辺を中心し得点を重ね、守ってはカットから速攻をくり返し加点。足の止まっている北海道に対しポスト攻撃などで15-8で前半を終了。

GK FP (審・田中) 林

〔戦評〕立ち上がり、青森はスカイプレーから1点を先取。対する神奈川も手渡しパスからのポストシュートで返す。14分まで両チーム一進一退の攻防であったが、その後神奈川は青森のミスを速攻に結びつけて得点を重ねる。ペースをつかんだ神奈川は、サイドシュート、ポストシュート、速攻と多彩な攻撃で青森を突き放した。青森はロングシュートをGKの好守に阻まれ、最後まで持ち味を出せず1回戦で敗れ去った。

得000144001210
 青森木田村藤浪田藤野屋村藤
 〔鈴〕前大工木澤佐牧名岡佐

得0004100000840
 岡山丸山白安木山藤瀬水永青能
 〔本〕上神田口邊本尾畑谷井登

福岡 29 (151-17) 11 京都 (久工大付)
 〔戦評〕立ち上がりのペースをとり合う大切な時に京都はPTを2本福岡GKに好守され、実力に勝る福岡の一方的なペースとなる。特に、ディフェンスの強い福岡に対し京都は無理な体勢からシュートをねらい、福岡ディフェンスにはね返され、福岡はそのボールを着実に速攻で得点につなげ、楽な試合展開で終了した。

GK FP (審・後藤) 島田

得002012010212
 東京浅野山川本川見水田元岡村
 〔湯〕水片森岩森塩清保坂朽松

〔戦評〕立ち上がり固さの見えた両チームであるが、5分過ぎからようやく得点が入り、両チーム5-5と一進一退のゲームとなった。15分過ぎ、東京は石川の単調な攻めに乗じて連続速攻をかけ、12-7とリードして前半を終了。

GK FP (審・田中) 林

〔戦評〕速攻を中心に展開がはじまり、岐阜の得点で1点差で前半15分まで経過するが、岐阜・日比野がマンツーマンで抑えられ得点が止まり、その間埼玉は永山、安藤、笹井の浦和実トリオが頑張り、前半は11-7と埼玉が4点リードして終了。

得001710223210
 石川藤小大北中菊石藤高松奥 東

得0070510005500
 東京山井藤代嶋戸澤橋藤藤
 〔東〕小五金遠田野六島高佐斉

得00012218400
 岐阜島辺村野須畑内田部野山
 〔此〕渡中日古川武安堀大杉

GK FP (審・後藤) 島田

得0001011032420
 埼玉地部田方藤越山藤井間野沖
 〔菊〕菊山新須塚永安笹本飯

〔戦評〕立ち上がり固さの見えた両チームであるが、5分過ぎからようやく得点が入り、両チーム5-5と一進一退のゲームとなった。15分過ぎ、東京は石川の単調な攻めに乗じて連続速攻をかけ、12-7とリードして前半を終了。

GK FP (審・田中) 林

〔戦評〕立ち上がり固さの見えた両チームであるが、5分過ぎからようやく得点が入り、両チーム5-5と一進一退のゲームとなった。15分過ぎ、東京は石川の単調な攻めに乗じて連続速攻をかけ、12-7とリードして前半を終了。

〔戦評〕立ち上がり固さの見えた両チームであるが、5分過ぎからようやく得点が入り、両チーム5-5と一進一退のゲームとなった。15分過ぎ、東京は石川の単調な攻めに乗じて連続速攻をかけ、12-7とリードして前半を終了。

〔戦評〕立ち上がり固さの見えた両チームであるが、5分過ぎからようやく得点が入り、両チーム5-5と一進一退のゲームとなった。15分過ぎ、東京は石川の単調な攻めに乗じて連続速攻をかけ、12-7とリードして前半を終了。

2回戦

得001710223210
 石川藤小大北中菊石藤高松奥 東

GK FP (審・田村) 藤

得0070510005500
 東京山井藤代嶋戸澤橋藤藤
 〔東〕小五金遠田野六島高佐斉

〔戦評〕立ち上がり固さの見えた両チームであるが、5分過ぎからようやく得点が入り、両チーム5-5と一進一退のゲームとなった。15分過ぎ、東京は石川の単調な攻めに乗じて連続速攻をかけ、12-7とリードして前半を終了。

GK FP (審・田村) 藤

〔戦評〕立ち上がり固さの見えた両チームであるが、5分過ぎからようやく得点が入り、両チーム5-5と一進一退のゲームとなった。15分過ぎ、東京は石川の単調な攻めに乗じて連続速攻をかけ、12-7とリードして前半を終了。

〔戦評〕立ち上がり固さの見えた両チームであるが、5分過ぎからようやく得点が入り、両チーム5-5と一進一退のゲームとなった。15分過ぎ、東京は石川の単調な攻めに乗じて連続速攻をかけ、12-7とリードして前半を終了。

〔戦評〕立ち上がり固さの見えた両チームであるが、5分過ぎからようやく得点が入り、両チーム5-5と一進一退のゲームとなった。15分過ぎ、東京は石川の単調な攻めに乗じて連続速攻をかけ、12-7とリードして前半を終了。

ドを広げ、前半の点差を守った東京がふり切った。

愛知 23 (1211 | 99) 18 愛媛

〔戦評〕愛媛の中間速攻、愛知のミドルシュートで始まった試合は一進一退の攻防が続いたが、前半残り5分のところで愛知・金子の連続得点などでややペースをつかみ、一時は愛知の3点差で終るかに見えたが、前半終了ノータ임フリースローで愛媛・大西のシュートが決まり2点差に食い下がった。

しかし、後半地方に勝る愛知は速攻、カットイン、ロングシュートと愛媛のゴールを攻め、リードを広げた。愛媛は大西がロング、フリースローと頑張ったがおよばなかった。

得000000301200030
愛媛 藤原 石藤原田原西田上本方
〔近〕白加藤藤森井大武村松武

GK FP (審・馬場) PT (2) 18

〔戦評〕神奈川の足を使ったリズムある攻撃に岡山のディフェンスがかみ合わず、開始5分で6点を連取される。岡山も白神のサイド

神奈川 37 (1720 | 109) 19 岡山

〔戦評〕前半は両チームとも一進一退の攻防を展開した。走り主体とした福岡に対し、セットで確実に得点をあげようとしている愛

シュートから反撃のきっかけをつかみ、10分で9-5と迫ったが、それ以降単調な攻めとなり、20-9で前半を折り返す。

後半、岡山は2点連取したが、攻撃のミスから走られて、前半同様な展開となり、神奈川のスピードある攻撃に圧倒されたゲームであった。

得004422001231
岡山 本上神田口邊本尾畑谷井登
〔丸山〕白安木山藤瀬水永青能

GK FP (審・田村) PT (0) 19

〔戦評〕東京・佐藤の右サイド、愛知・丹羽、石田の活躍で点を取り合い一進一退の好ゲーム。愛知が連続してノーマークシュートを外す間に東京が確実に決めて抜け出し、15-10で前半終了。

後半も確実さを失わず、東京が着実に得点を重ね、愛知も速攻、PTなどで追うが、ディフェンスの甘さが目立ち始め、間を割られることが多くなり、得点の後を守り切れず、追いつくことができなかった。

〔戦評〕埼玉のディフェンスの良さから速攻で4-0とリード。しかし、福岡も1対1のフェイントをうまく生かし、中盤は両者ミスがありながらも互角の闘い。埼玉

得0023000523000
埼玉 地部田方藤越山藤井間野
〔菊渡〕小新須塚永安笹本飯

GK FP (審・馬場) PT (1) 15

〔戦評〕前半は両チームとも一進一退の攻防を展開した。走り主体とした福岡に対し、セットで確実に得点をあげようとしている愛

得00463000001336
福岡 文島 田田賀中 口田崎場
〔福中〕誉鶴古田 江飯川馬

23 (1) PT

準決勝

のノーマークミスを後半福岡が確実に点につなげて、10-8と前半を埼玉がリードして終了。

後半立ち上がり、埼玉のノーマークミスから福岡の攻守のリズムが良くなり逆転。そのままフットワークを生かした攻撃で埼玉を押し切った。

東京 30 (1515 | 1310) 23 愛知

〔戦評〕東京・佐藤の右サイド、愛知・丹羽、石田の活躍で点を取り合い一進一退の好ゲーム。愛知が連続してノーマークシュートを外す間に東京が確実に決めて抜け出し、15-10で前半終了。

後半も確実さを失わず、東京が着実に得点を重ね、愛知も速攻、PTなどで追うが、ディフェンスの甘さが目立ち始め、間を割られることが多くなり、得点の後を守り切れず、追いつくことができなかった。

〔戦評〕埼玉のディフェンスの良さから速攻で4-0とリード。しかし、福岡も1対1のフェイントをうまく生かし、中盤は両者ミスがありながらも互角の闘い。埼玉

得0025160005112
愛知 木内羽田頭子水山本内井藤
〔堀池〕丹石鬼金清青橋山中近

GK FP (審・田村) PT (1) 23

〔戦評〕前半は両チームとも一進一退の攻防を展開した。走り主体とした福岡に対し、セットで確実に得点をあげようとしている愛

得009911440003844
東京 梶小五金遠田野宍島高佐斉

30 (2) PT

神奈川 22 (1210 | 1010) 20 福岡

〔戦評〕時折見せる手渡しパスにロング、ポスト、サイドと変幻自在の神奈川に対し、ディフェンスの穴を巧みについて、カットインサイド、速攻の福岡、互いに持っている技を駆使しての応酬、一進一退のまま10-10で前半を終了。

後半滑り出しは、福岡が先制、カットイン、速攻、スカイプレーと3点を連取するが、神奈川が10分に追いつき6点をリード。その後福岡は速攻、スカイプレーなどで追うが、スカイプレーのミスが目立ち始め、2点差までが一杯であった。

〔戦評〕埼玉のディフェンスの良さから速攻で4-0とリード。しかし、福岡も1対1のフェイントをうまく生かし、中盤は両者ミスがありながらも互角の闘い。埼玉

得0024500000054
福岡 文島 田田賀中 口田崎場
〔福中〕誉鶴古田 江飯川馬

GK FP (審・後藤) PT (2) 20

3位決定戦

福岡 24 (1311 | 149) 23 愛知

〔戦評〕前半は両チームとも一進一退の攻防を展開した。走り主体とした福岡に対し、セットで確実に得点をあげようとしている愛

得0066600071110101
神奈川 小鎌山小松後西齊太中熊小

22 (3) PT

ねばりは頑張り 気力は体力

医薬品



キョレオピン

医薬品



レオピンファイブ

効能・効果

- 滋養強壮 ●虚弱体質
- 肉体疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害
- 発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給



湧永製薬株式会社

- 札幌011(747)2166 ●東京03(293)3351 ●名古屋052(971)5901
- 大阪06(458)8901 ●広島082(264)4116 ●福岡092(481)7382

知の戦いであった。

後半に入り、愛知はセットプレーにおいてノーマークシュートはあるが、福岡GKの好守にあい点差が開いた。終盤粘る愛知は、残り時間1分22秒にPTで1点差まで追いついたが力つき、福岡が辛くも逃げ切った。

得001516001324
知木内羽田頭子水山本内井藤
〔愛〕堀地丹石鬼金清青橋山中近

GK FP〔審・田中〕

〔岡〕鳥田田賀中 口田崎場
〔福文〕岡田田賀中 柳飯川馬
〔中〕譽鶴古田 江柳飯川馬
得0032400000087

決勝

東 京 25
〔1411111〕 22 神 奈 川
〔戦評〕キャプテン五島をコント
ロールタワーとして180cm以上

少年女子／兵庫が優勝

1回戦

愛 知 16
〔915〕 13 広 島
〔愛知選抜〕7-1-8 (山陽女高)

〔戦評〕広島が土師の速攻が決まり好スタートに見えたが、その後シュートミスから愛知の速攻を許

の面フロターで勝負の東京に対し、手渡しパスを駆使して変幻自在の動きからエース小沢で勝負の神奈川、一進一退のまま11-11の同点で前半を終了。

後半立ち上がり、東京が高橋のサイドを決めるや五島が速攻、PTと確実に決めて4点リード。その後、神奈川も小沢のロングを中心にポスト、あるいはサイドから決め懸命に追うが、ノーマークシュートをGK梶山にたびたび止められ、1分前に2点差まで追い上げるが及ばなかった。

得0067004010031
寺田地沢藤村藤川村倉俣
〔神〕小鎌山小松後西齊太中熊小

GK FP〔審・後藤〕

〔東〕山林島井藤代島戸沢橋藤
〔梶小〕五金遠田野六島高佐
得00100420003442

差にまで詰め寄ったが及ばなかった。

得00901000001000
保上師田本田田実本田山口
〔廣〕久井土飯松横許村岡今横川

GK FP〔審・大原〕

〔愛〕田高田田田田藤本中山本
〔柴〕飯飯塩合山飯武山畑西吉
得00373200000010

沖 縄 13
〔5815〕 11 茨 城
〔沖縄選抜〕沖縄・八十岡、茨城・富

着を攻撃の軸として立ち上がり15分までは茨城が先行してシーソーゲームを展開したが、茨城の退場を機に沖縄が逆転、8-5と3点をリードして前半を終了。

後半、沖縄がいったんは5点差まで広げたが、茨城も高橋の頑張りで猛反撃、高橋一人で6点をあげる活躍を見せたが一步及ばなかった。

得000110107010
田木田藤岡本井下橋内原橋
〔茨〕吉鈴横内八山門山高小海石

GK FP〔審・小友〕

〔沖〕田城田田着城垣里喜仲島森
〔久名〕松大松松富大新喜渡田真粟
得000007111112000

滋 賀 18
〔彦根高〕 8-1-7
1-1-0 16 神 奈 川
〔神奈川選抜〕

〔戦評〕立ち上がり、切れの良い動きで2連続得点をあげ幸先の良いスタートを切った滋賀であったが、中盤からスローテンポに変えた神奈川のオフエンスが成功し、その後一進一退の展開を見せたが神奈川が1点をリードして前半を終了。

後半に入っても展開は変わらず、1点を争う攻防が続いた。神奈川・徳島のミドル、カットインに対し滋賀は吉本を中心に一步も譲らず延長戦に入る。延長に入つて脚力の差が出て、全員が走つた滋賀が連続得点して逃げ切った。

得0011010011110
間田暮島井井永山谷田下永
〔神奈〕本岡木徳松石徳中森国山松

GK FP〔審・大原〕

〔賀〕崎川本尾居出 藤山場松田
〔滋〕川北吉山浅井 林 安松馬小向
得005332223030000

北 海 道 16
〔はまなす〕 8-1-6
1-1-1 14 福 島
〔福島選抜〕

〔戦評〕福島が先行したが、すぐに北海道が追いつき、その後一進一退の展開を見せ、多彩な攻撃フオーメーションを見せた北海道が

新しい時代を作ってゆくのは、
新しいひらめき。
そして、ひらめきを実現してくれる
素材が求められます。
常に新しい技術で新しい夢をかなえる
素材をお届けしてきた日新製鋼。
これからも時代に応える
新しい素材をみつめてゆきます。



明日の素材をみつめる
日新製鋼
東京都千代田区丸の内3-4-1
(新国際ビル) ☎03-216-5511 〒100

一歩リードして前半を終了。
後半に入ってから、福島がすぐにも同点に追いつくが、北海道が再び一歩リード、一進一退のシーソーゲームの末、前半の点差を守った北海道が辛くも逃げ切った。

得000101053112
高部沼 藤村林藤辺立 部牧
〔服柳 佐吉小伊渡松 岡西〕

GK FP〔審・小友〕
〔番・谷藤〕

得002023503010
〔藤戸歌藤戸崎山田島輪川田〕
〔北白和佐鹿岡森山小三長山〕

千葉選抜 11〔4-1-7〕 10 宮城
〔戦評〕立ち上がりは両チームとも動きが固くミスが多かったが、5分過ぎから宮城が速攻、フリースローから加点し、中村に頼る千葉を7-4と引き離して前半を終る。

後半、宮城は千葉・中村に1対1のマークをつけるが、かえって

得000511102000
〔宮庄伊佐佐桜小目八藤山笠熊〕

GK FP〔審・馬場〕
〔番・浜田〕

得000350000300
〔千時村島山中村田三志竹永大〕
〔葉〕田上海田村越上枝村田井野

11 (3) PT (2) 10

千葉のカットイン、ステップシュートを許し、これで攻撃もリズムを崩し、16分までに5点連取される。宮城も終盤、佐藤を軸に一度は同点に追いつくが、千葉・山田がPTを決めてふり切った。

大分選抜 22〔13-9-9〕 14 三重
〔戦評〕立ち上がり三重・江川のジャンプシュートで先行したが、すぐ大分が反撃、寒川のサイドシュート、古宅のポストシュートなどで3-1とする。その後大分が先行、三重が追いつくという展開で、9-9で前半を終了。

後半に入り、10分過ぎから大分・松本の速攻、ロングが入り、6点連取して試合を決定づけた。三重も江川のステップ、ロングと追い上げたが、後半足が止まり、リズムに乗れなかった。

得0074101010000
〔高内江中豊橋 中岡 渥野石下〕
〔橋田川川田田爪 美田原澤〕

GK FP〔審・佐藤〕
〔番・鈴木〕

得000001300456003
〔古遠渡下実富上松徳甲兎古〕
〔大〕田竹辺郡川松野本光斐玉宅

石川選抜 20〔12-8-4〕 12 愛媛
〔戦評〕前半、石川の多彩な攻撃に対し、愛媛は森を中心として必死に反撃を試みるが、逆に攻撃が

死に反撃を試みるが、逆に攻撃が

22 (2) PT (2) 14

単調になり、8-4で前半を終了。後半に入り、愛媛はポスト、サイドなどを使い反撃するが、ペーシは変わらず、石川が持ち味のサイド、ポスト、速攻などの攻撃を出し完勝。

得00221100130000
〔愛媛生村辺藤田智野 田瀬中上〕
〔鳥中渡加高越長 森 池廣竹村〕

GK FP〔審・馬場〕
〔番・浜田〕

得0003541240010
〔馬小島 清河大三土山山〕
〔石場田中 水原田安田崎本〕

兵庫選抜 23〔10-13-10-9〕 19 山口
〔戦評〕立ち上がりからお互いにポストシュート、ステップシュートなどで得点し、10分には5-4と兵庫が1点をリード。その後、兵庫はポストへのパスカットから速攻に結びつけて加点、13-9と4点をリードして前半を終了。

後半に入り、一進一退を続けな

得0071000107021
〔山口山原弘田国藤田木村本本野〕
〔岡松末植重西梅白山山山中〕

GK FP〔審・佐藤〕
〔番・鈴木〕

得00260103000020
〔兵庫田塚藤口村林淵口 高崎 巽〕
〔松平伊西新大田田 戸江〕

23 (2) PT (2) 19

から20分過ぎに山口も2点差まで追い上げるが、兵庫のフイエントシュートなどで4点差をつけられて敗れる。

2 回戦

愛知 22〔11-1-5-11〕 16 沖縄
〔戦評〕愛知は速いボール回しからポスト、ミドルシュートで得点をあげる。一方沖縄は、愛知の堅いディフェンスを崩すことができずにいたが、4分過ぎポストから初得点をあげ、その後相手パスミス、シュートミスから速攻で加点。前半を11-11の同点で折り返す。

後半、10分過ぎまで一進一退のゲーム展開を見せたが、15分過ぎから愛知は速攻、セットからの攻撃が冴えて得点を重ねてリードを広げて逃げ切った。

得0021322020023
〔沖縄田城田田着城垣里喜仲島森〕
〔松大松松富大新喜渡田真栗 久名〕

GK FP〔審・倉本〕
〔番・山辺〕

得00662251100001
〔愛知柴日飯塩合山飯武山畑西吉〕
〔田高田田田田藤本中山本〕

滋賀 19〔13-6-1〕 7 北海道
〔戦評〕15分まで互いに攻め切れぬ状態で、PTも1本ずつミスす

ぬ状態で、PTも1本ずつミスす

OSAKI

電気をみちびく。
未来へみちびく。
— 計測と制御 —

大崎電気工業株式会社
本社 〒141 東京都品川区東五反田2-2-7
電話 (03) 443-7171(代表) FAX (03) 447-5844

るといふ双方ともリズムに乗り切れない展開で、ロースコアーながら6-1と滋賀がリードして前半を終了した。

後半も力の衰えぬ滋賀は、滑り出しに連続得点するや左フロッター浅居、右からサウススポー吉本とフリースローからのシュートが確実に決まり差を広げる。北海道も速攻、カッティンで反撃を見せるが、大差をつけられ及ばなかった。

得00100005001000
藤戸歌藤戸崎山田島輪川田
道藤戸歌藤戸崎山田島輪川田
北海佐白和佐鹿岡森山小三長山

GK FP (審・高野)

千 葉 24 (121 | 119) 20大分
〔戦評〕千葉は、ワンフェイントからのパスを生かしてカッティンプレーやポストプレーなどすばら

得0001010852003
田竹辺郡川松野本光斐玉宅
分田竹辺郡川松野本光斐玉宅
〔古遠渡下実富上松徳甲児古

GK FP (審・山本)

得00511940000500
時村島山中村田三志竹永大
業田上海田村越上枝村田井野

24 (2) PT

しい攻撃力を見せてくれた。大分もキープ力のあるシュートで同様のプレーを披露してくれた。両チームとも個人的にすばらしい技術をもっており、高校女子としてはレベルの高い試合であった。走り勝ちの千葉が勝利を得た。

兵 庫 16 (79 | 66) 12石川

〔戦評〕前半、兵庫はすばやいパスのセット、オフエンスからロングを中心に攻めるのに対し、石川は堅い守りから速攻で対抗した。しかし、21分から速攻からPTにつながった3連続ミスが痛く、9-6と兵庫がリードして前半終了。

得0011430122000
川場田中 水原田安田崎本
石馬小島 清河大三土山山
〔戦評〕兵庫は速攻で懸命に追い上げ、18分には3点差としたが、兵庫GK松田の再三の好守にあい追いつくことができなかった。

GK FP (審・高野)

得00335032000030
松平伊西新大田田 戸江 巽
兵塚藤口村林淵口 高崎 巽
庫田塚藤口村林淵口 高崎 巽

準決勝

滋 賀 19 (118 | 7) 15愛知

〔戦評〕愛知・山田、滋賀・吉本のロングの打ち合いでスタート、15分までに愛知は飯田、滋賀・吉本の正確なロングなどで7-6。その後一進一退の展開が続く、8-8の同点で前半を終了。後半も全く互角の展開でスタート、中盤愛知退場の間に滋賀が3点のリードを奪い、そのままリードを保って逃げ切った。

GK FP (審・江成)

得0082120200000
知高田田田田藤本中山本
愛柴日飯塩合山飯武山畑西吉

千 葉 19 (712 | 5) 12千

〔戦評〕兵庫はコントロールタワー大林がフェイント、ローリング速攻と自在に動き回り、両フロッター、両サイド、ポストが巧みからんでの攻めで着実に得点する。一方千葉は、フェイントからのカッティン、ローリングと最終的にはポストとサイドを使う攻めながらもディフェンス力、身長ともに勝る兵庫を攻め切れず、12-5で前半を終了。

後半、千葉はフォーシオンを駆使し、速攻、PTと追い上げ、互角のゲームをするが、ここという

時にシュートミスが重なり、点差を縮めることができなまま19-12で兵庫が制した。

得0012612000000
田上海田村越上枝村田井野
千時村島山中村田三志竹永大

GK FP (審・後藤)

得0065140000030
兵松平伊西新大田田 戸江 巽
庫田塚藤口村林淵口 高崎 巽

3位決定戦

千 葉 16 (88 | 8) 15愛知

〔戦評〕最後まで緊迫した好ゲームの明暗を分けたのは残り1分30秒からだ。それまで両チームとも堅い守り、すばやいパスワーク、出足のいい速攻、タイミングのいいロングで千葉がやや優位だったがほぼ互角。残り1分30秒、愛知は飯田がPTを決め15-15の

得0023451000000
知高田田田田藤本中山本
〔愛日飯塩合山飯武山畑西吉

GK FP (審・山本)

得00506011103000
時村島山中村田三志竹永大
業田上海田村越上枝村田井野

16 (0) PT

同点とした。残り1分、千葉はポストからのシュートを鳥海がミス、フロッターしたポールも得点に結びつかなかった。しかし千葉は、残り10秒の中央からのフリースローフォーメーションがようやく決まり辛くも逃げ切った。

決勝

兵 庫 15 (717 | 7) 14滋賀

〔戦評〕立ち上がり元気がない兵庫に対し滋賀は吉本、山尾のロングなどでリードした。10分まで無得点だった兵庫は、江崎のフリースローからのロングが決まってから波に乗り、大林がよく走って7-7と追いついた。

後半も常に滋賀がリード、15分、22分に同点にされてもすぐ吉本、山尾のシュートでリードを奪う。しかし、兵庫は残り1分に三度目の同点に追いつき、残り19秒、岡のサイドシュートで鮮やかに逆転勝ちを取めた。

得0044500203000
賀崎川本尾居出 藤山場松田
〔滋川北吉山浅井 林 安松馬小向

GK FP (審・小笠原)

得001105101051
兵松平伊西新大田田 戸江 巽
庫田塚藤口村林淵口 高崎 巽

15 (0) PT

ヤロスラフ・ムラツツ (チェコスロバキア) のハンドボール (その1)

オリンピックリダリティー講習会より

指導方法委員会

委員 村松 誠、杉森弘幸、三輪一義



オリンピックソルダリティー講習会より

ゴールキーパーのトレーニング(実技)

5月30日の午後の部でゴールキーパーのトレーニングの実技がJUKI体育館で行われた。実技は、東海大学と国士館大学、順天堂大学のゴールキーパーがデモンストラーターとなった。

実技に先立ち、ムラツツ氏は次のように述べられた。

「ゴールキーパーは特別なポジションであり、特別なタイプである。普通のタイプではないが、決してネガティブという意味ではない。個性の強いポジションということであり、常に一人で個人プレーをするという意味で特別である。ゴールキーパーは、チームのために自分を犠牲にしてボールを抑えることが必要であり、ゴールキーパーのタイプはチームに反映する。このようなことからゴールキーパーのトレーニングは重要である。

今までのトレーニングはチームから離れてすることが多かった。ウォーミングアップの後から練習に入ってくる。ただ単にシュート練習に入ってくる。そのシュート練習も実戦的なものではない。最近ではアシスタントコーチがいて、ゴールキーパーのトレーニングをしているが、現在ではコートプレ



ヤーと一緒に複合したトレーニングがつけられている。今日はいくつかのトレーニングを紹介する。」

I. ボールを使ったゴールキーパーのトレーニング

①ドリブルをしながら進み、ボールを上へ投げ上げる。投げ上げたらずくに床に手をつき、落ちてくるボールをノーバウンドでキャッチする(図1)。床に手をつくかわりに、長座、腕立て姿勢、前転、後転などのバリエーションがある。ミスをしたら腕立て伏せを5回

くらし、ひろげるジャスコのカード

会員募集中

ファッションから食品まで
サインひとつでお買物。

ご入会手続きも簡単です。
お気軽にお申込み
ください。



- お支払いもいろいろ
- 月々のお支払いがラクなリボルビング払い
 - 手数料なしのおトクな一回払い
 - お求めはいま、お支払いはボーナス一括払い

お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店サービスカウンター又は、販売員におたずねください。



図1



床に手をつく キャッチ

図2

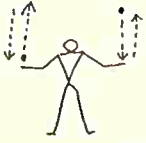


図3



手をたたく キャッチ

図4



床に手をつく 手をたたく キャッチ

図5

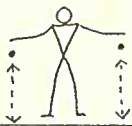


図6

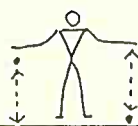
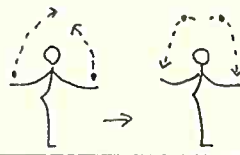


図7



キャッチ

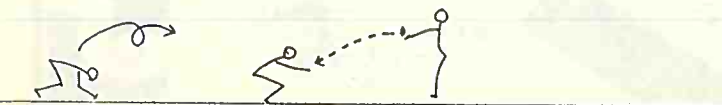
図8



図9



図10



図の説明

- △ —— 攻撃プレイヤー
- △ —— ボールを持った攻撃プレイヤー
- —— ゴールキーパー
- —— ディフェンス
- —— バスのコース
- —— プレイヤーの動き
- —— シュート
- —— ブロック

やらせる。
 ② ボールを二つ使い、交互に投げ上げノーバウンドでキャッチする(図2)。
 ③ ボールを同時に投げ上げ、自分の前で手をたたき、落ちてくるボールをノーバウンドでキャッチする(図3)。これには手を前と後でたたき、前後・前と3回にするとか、床に手をつけてから手をたた

く(図4)などのバリエーションがある。
 ④ 両手で二つのボールを同時にドリブルする。同じリズムと交互にとする(図5、6)。
 ⑤ 二つのボールを片方は前から、もう一方は後ろから投げ上げ、それぞれ逆のボールをキャッチする(図7)。
 ⑥ ボールを一つは手に持ち、一つは下に置く。手に持ったボ

ールを投げ上げ、すぐに下のボールを拾い、落ちてくるボールをノーバウンドでキャッチする(図8)。キャッチの後、交互に投げ上げる。
 ⑦ 二人で行なう。6番と同じようにボールを投げ上げ、もう一つのボールを拾うが、拾ったボールはすぐに相手にパスする。落ちてきたボールも同様にノーバウンドでキャッチ

し、直ぐ相手にパスする。パスを受け取った者はボールをすぐに投げ上げ、次にきたボールを返球して落ちてくるボールをノーバウンドでキャッチする(図9)。このような練習は、毎日毎日の練習の中で監督、コーチ、プレイヤーが新しいものを考えればよい。
 ⑧ ボール3個のキャッチボール。
 ⑨ 次は体操用マットを使用して

図11

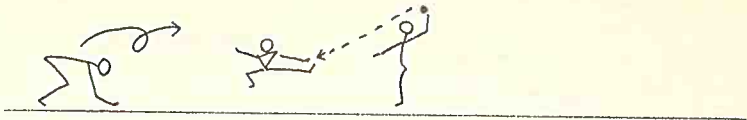


図12

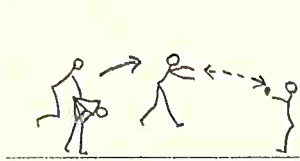


図13

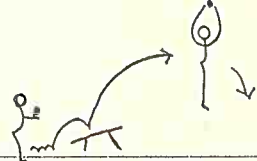


図14

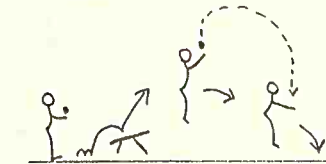


図15

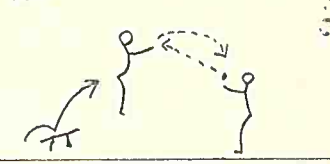


図16

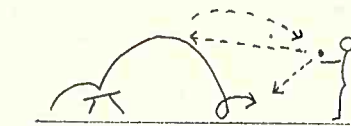


図17

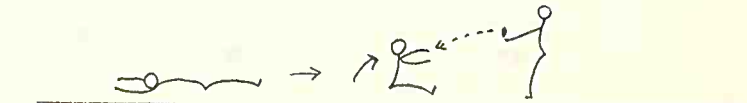


図18



図19

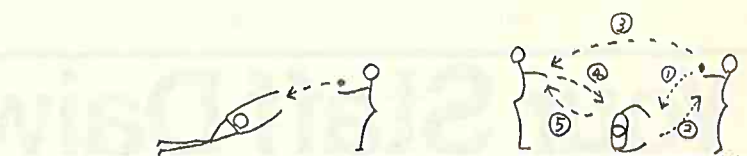


図20

図21



図22



行なう。前転をしてコーチからのボールをキャッチする(図10)。常に正面だけでなく、少し左右に投げる。同じく2回転して行なう。一回転づつキャッチしてはボールを返す。同様に後転でも行なう。同じように起き上がった時に足でキーピングをする(図11)。

⑩馬飛びしてボールをキャッチする。コーチは、足が床につく前に空中でキャッチさせることが重要である(図12)。キャッチしたボールは空中で返す。着地した後、前後転してまたキャッチする。

⑪ボールを持って、ミニトランポリンで高くジャンプ(図13)。同様にジャンプし、空中でボールを投げ上げ、着地する前にキャッチする(図14)。

⑫次はボールなしで飛び出し、コーチから投げられたボールを空中でキャッチ、パスする(図15)。パスには、バックパスも使う。着地の後前転してキャッチする(図16)。

⑬仰向けに寝て、上体を起こしてコーチからのボールをキャッチする(図17)。

⑭うつ伏せに寝て、上体を反らしてボールをキャッチする(図18)。

⑮横向きに寝て、ボールをキャッチす(図19)。コーチ2人の間に横向きに寝て、キャッチ、パス、向きを変えるを繰り返す(図20)。

⑯横向きに寝て、足でボールを止める(図21)。

⑰うつ伏せに寝て、ボール2つで交互にキャッチボール(図22)。

⑱うつ伏せに寝て、ボール2つを使い、一つは手でキャッチボール、もう一つは足で止める(図23)。

⑳ゴールの前に長座してキーパー練習(図24)。ゲームと同じ早いボールで行なう。

㉑長座でボールを投げ上げ、投げ上げたらコーチからのシユ

図23



図24



図25

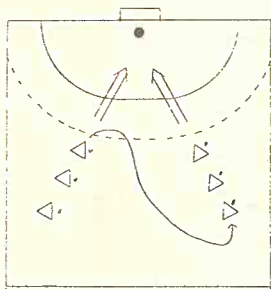
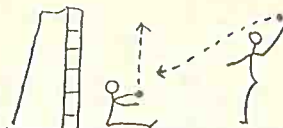


図27

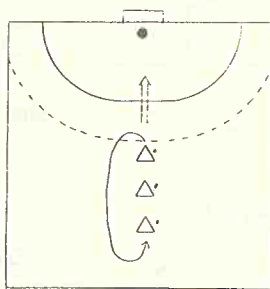


図26

②③ 両45度にシューターは並び、交互にシュートを打つ。シューターは一か所に、たとえば右上か左上) 実際のシュートを止める。

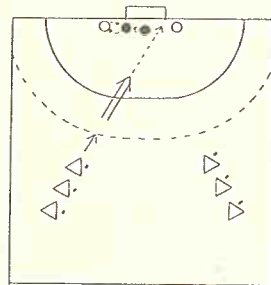


図29

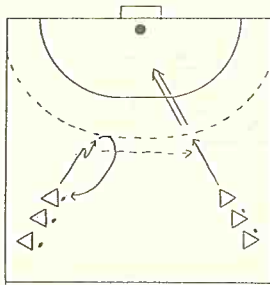


図28

②④ 両45度に分かれてパスからのシュートであるが、パスは必ずシュートフェインとから行なう。パスした後はすぐにホームポジション(最初にいた基本の位置)に戻り、すぐ次のシュートを打つ(図28)。シュートを正確に打ち、打つ距離を守ることが大切である。

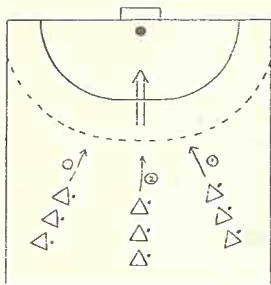


図31

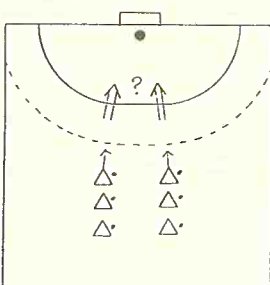


図30

②⑤ ゴールの両脇にいるコーチからボールを受け取り、すぐ返した後、逆コーチに打たれたシュートを止める(図29)。コーチはキーパーをゴールポストまで動かすことが大切である。これを交互に行なう。

②② キーパーはゴール前に立ち、コートプレーヤーはそれぞれボールを持ち、順番にキーパーに向かって投げる(図26)。最初は馴れるために正面のボールをキヤッチする。次にシューターのコーナーを決め(右上か左上) 実際のシュートを止める。

②① 長座でボール2個でキーピング。同様にそんきよの姿勢でも行なう。

②④ 両45度に分かれてパスからのシュートであるが、パスは必ずシュートフェインとから行なう。パスした後はすぐにホームポジション(最初にいた基本の位置)に戻り、すぐ次のシュートを打つ(図28)。

②⑤ ゴールの両脇にいるコーチからボールを受け取り、すぐ返した後、逆コーチに打たれたシュートを止める(図29)。

②⑥ 二人が同時にシュートフォームをつくり、どちらか一方だけがシュートを実際に打つ(図30)。事前にどちらがシュートを打つか決めておき、1、2、3とタイミングを合わせてフォームをつくる。

②⑦ 両45度とセンターの3ポジションにシューターを配置し、両45度は前と同じように同時にシュートに入りどちらかが打つ。打つたらすぐ後センターがシュートを打つ(図31)。以上はシュートを上のコースに限定して、ステップシュートで行なう。

Your Staff Daiwa

これからの時代、情報と金融は(ダイワ)が大いにお役に立てる分野です。



大和銀行



には、特に女子はいろんな動きが必要である。

28 両足にボールをはさみ、ジャンプしてボールを前に上げる。上げたら、足、膝、頭などでボールつきをする(図32)。

29 同様に足にボールをはさみ、ジャンプしてボールを後ろに上げ、ノーバウンドでキャッチする(図33)。サッカーの練習も良いものである。特に準備の時期に我々はよく行なう。

30 ゴール前でそんな姿勢になり、下のキーピングを行

なう(図34)。最初は片方だけで行ない、手を添えることが大切である。

31 正座をして同様に下だけのキーピングを行なう(図35)。

32 後ろに転がって、起き上がったキーピングをする(図36)。コーチは足に体重がかかった時にボールを投げるが大切である。同様にして、後ろ向きから転がって、前転後転からも行なう。

33 ゴールにぶらさがって足でキーピングをする(図37)。

スローラインから下だけで行なう。

35 両45度とセンターにシューターを配置し、センターがシューターにパスを出し、45度からシュートする(図38)。

36 両45度にポストを2人と、センターにシューターを配置し、センターがシューターをねらってからポストにパスをし、ポストからシュートする(図39)。シュートは交互に行ない、対角線上の下に打つ。

37 両45度ポストの位置からポ

図32

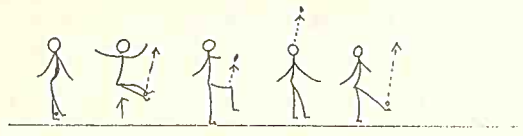


図33

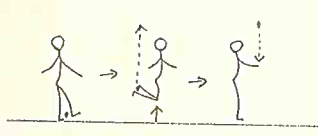


図34



図35

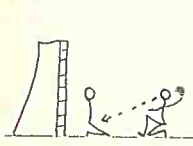


図36

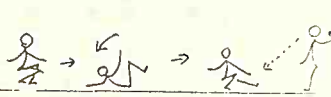


図37

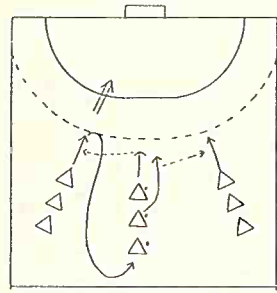
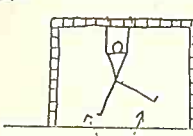


図38

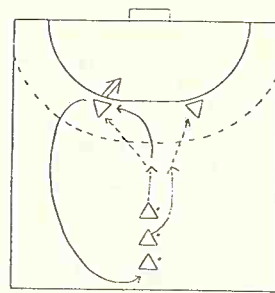


図39

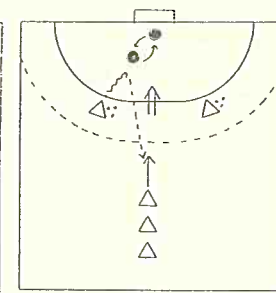


図40

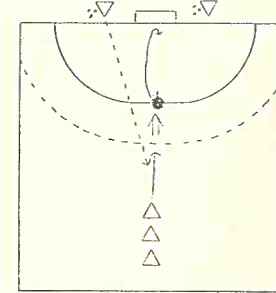


図41

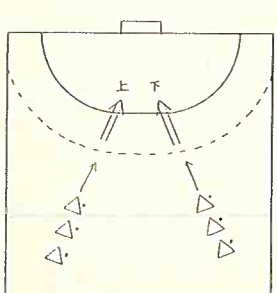


図42

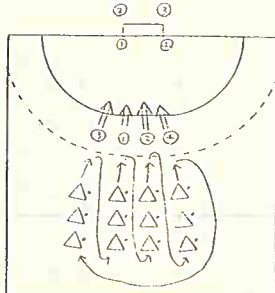


図43

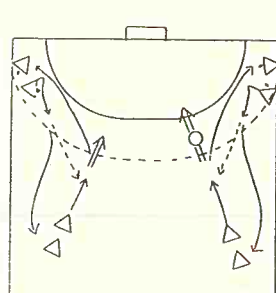


図44

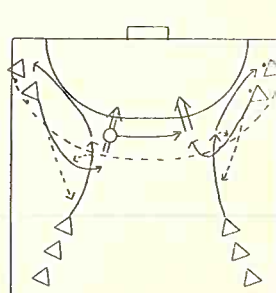


図45

ルをキーパーに転がす。キーパーは前に出てボールを拾いすぐにセンターにボールをパスする。パスした後キーパーはホームポジションにすぐに戻り、ボールを受け取ったセンターからのシュートをキーピングする(図40)。

③⑧キーパーはゴールエリアラインにゴールに向かって立ち、ゴール脇のコーチから出されたボールを見てホームポジションへ行く。センターのプレーヤーはボールをキャッチしたらすぐにシュートを打つ(図41)。同様に前向きで立ちボールが見えたらバックしてキーピングを行なう。

③⑨両45度から、打つコーナーを決めて練習する。たとえば右45度が右上、左45度が左上というように対角線で行なう(図42)。

④⑩フロッターの位置に4ポイントを置き、順番に打つコーナーを決めてシュートする(図43)。

Ⅱ. 以上はゴールキーパーのトレーニングであったが、次からはゲームの状況に合った、ゲームのことを考えてコートプレーヤーと一緒に練習する。

④①サイドプレーヤーがシュートコースに入りながら45度パスを出し、45度からシュートを打つ(図44左)。同様にし

てディフェンスをつけて行なう(図44右)。

④②サイドからボールを出し45度とクロスしてシュートを打つ。打つた後は逆サイドから始める。ディフェンスはその都度動いてシュートカットをする(図45)。パスの後に出てくるシュートに対してキーパーが反応することが大切である。一つの段階を追っている。

④③片方のサイドと両45度にシュートを配置する。番号はパスの動く順番である。パスが終わったらすぐにパスしたポジションへ動いて次のプレーをする(図46)。シュートはサイドハンドシュートかアン

ダーハンドシュートで行なう。また、パスはシュートフェイントから行なう。

④④前と同じであるが、2番のプレーヤーはパスの後ブロックに行く(図47)。

④⑤サイドから逆45度へパスを出す。そこからまたその逆へパスを戻してシュートする(図48)。形に捕われずキーパーが反応しなければシュートをするのが大切である。

④⑥前と同じ形であるが、2番のプレーヤーはパスの後ブロックに行く(図49)。

④⑦45度にパスをしたサイドはすぐにブロックに行く。45度は逆45度にパスを出しそこから

シュートする(図50)。

練習の中でいろんな形をいろんな方法で変化させることが大切である。キーパーだけでなくチーム全体にとっても大切である。

④⑧ これまではフロッターのポジションからの練習であったが、次はサイドのポジションからのシュートを行なう。サイドのプレーヤーがボールを持って注意することは、ライククロスをしないうようにゴールエリアラインとの間隔を置くようにポジションを大切にすることである。

④⑨ サイドからボールを出し45度のプレーヤーがシュートをね

らってサイドに返しシュートする(図51)。このとき45度のプレーヤーは色々と考えなければいけない。たとえば、サイドプレーヤーがボールを仰えにきて、切り返してシュートに行くことなど(図52)。

④⑩ 常にあるようなバリエーションを考えなければいけない。実際のゲームと同じように、

④⑧ 48番と考え方は同じであるが、パスの出し方が違う。逆45度からボールを出しサイドへパスをしてシュートする。パスはそれぞれシュートをねらってから行なう(図52)。

④⑨ サイドからボールを出し45度がクロスをしてサイドシュ

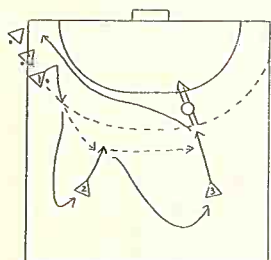


図46

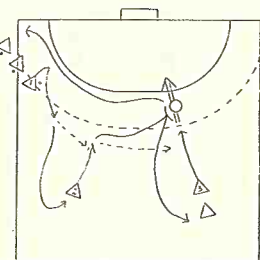


図47

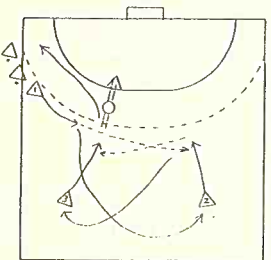


図48

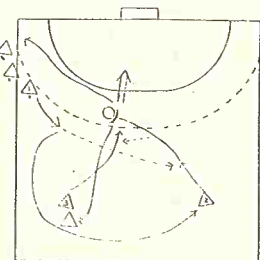


図49

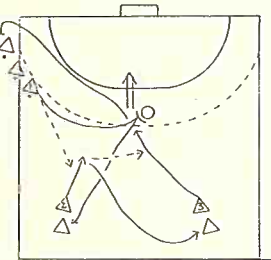


図50

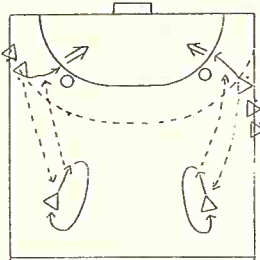


図51

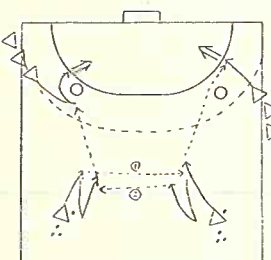


図52

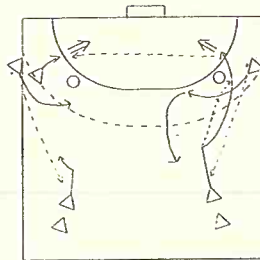


図53



トを打つか、逆サイドにパスを送る。逆サイドシュートで1回が完結であるが、すぐに最初の逆サイドから同じ事を交互に繰り返す(図53)。

⑤1 次はフロターとサイドを交代でシュートを打つ。まずサイドからボールを逆45度に出しロングシュートを打つ。シュートを打つたらず45度からサイドにボールを出しサイドシュートを打つ。ディフェンスはそれぞれシュートを防ぎにくい(図54) サイドを交代しても行なう。

⑤2 同様にサイドとフロター交代でシュートを打つがパスシュートが終わったらポジションを交代する(図55)。

⑤3 まず45度からサイドにパスを出しシュートする。その後すぐにサイドから次のプレーヤー

がボールを出し、45度からシュートを打つ(図56)。両サイドで行なう。

⑤4 次はサイドとポストからのシュートである。センター、両45度、サイドとポストを図のように配置し、まずセンターからボールを出し45度からポストへパスしてシュートする。次に次のセンターから逆45度に出しサイドとクロスしてシュートを打つ(図57)。パスした後はそれぞれパスしたポジションへ移動する。

⑤5 3つのプレーを順番に行なう。1番目はセンターがシュートモーションをしてから45度へパスし、45度で1対1を行ないシュートする。2番目はセンターから1番目と逆サイドへパスし、サイドのプレーヤーはポストとクロスして、ポ

ストのプレーヤーがサイドからシュートする。3番目は同方向の45度へパスし、45度とクロスしてリターンパスを受けてロングシュートを打つ(図58)。シュートを打ったプレーヤーはセンターに戻り、パスしたプレーヤーはそれぞれパスした先のポジションへ移動する。

以上はチェックでやっている1つのゴールキーパーのトレーニングである。これによってチェックでは必ず良いゴールキーパーが生まれている。自分のチームで続けていけば、ゴールキーパー、ディフェ

ンス、プレーヤーの流れがスムーズに行くようになるでしょう。以上がゴールキーパーのトレーニングの内容です。

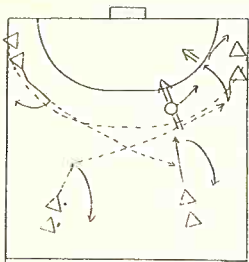


図54

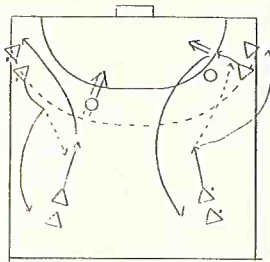


図55

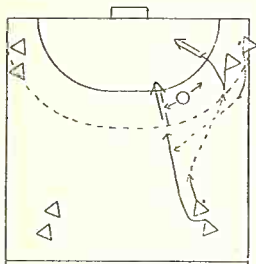


図56

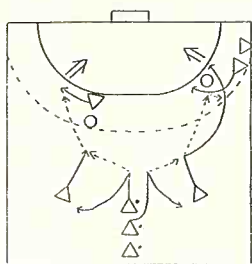


図57

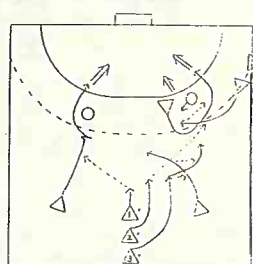


図58

A4版84ページ・カラーページにスーパーショット満載!
月刊誌入スポーツイベントハンドボール
毎月20日全国書店にて発売中!

1冊¥600 年間購読(1年間12冊・¥7,200/半年間6冊・¥3,600)

(株)スポーツイベント 〒101 東京都千代田区神田小川町1-9 川上ビル3F ☎03-294-5231(代)

第16回全国高専選手権大会

豊田が初優勝を飾る

大会成績

1回戦

岐阜 卓 24
1212 | 9 8
17 東 京

呉 28
1711 | 9 10
19 明 石

育 英 22
1210 | 7 4
11 秋 田

沼 津 39
2118 | 4 2
11 釧 路

2回戦

八 代 22
1210 | 5 12
17 岐 阜

豊 田 31
1714 | 1310
23 呉

石 川 15
8 7 | 6 4
10 育 英

沼 津 31
1714 | 12 6
18 大阪府立

準決勝

豊 田 20
13 7 | 8 6
14 八 代

沼 津 15
10 5 | 7 7
14 石 川

決勝

豊 田 25
1114 | 9 8
17 沼 津

大会を終えて

(財)日本ハンドボール協会と(財)全国高等専門学校体育協会の主催による第16回全国高等専門学校ハンドボール選手権大会が、静岡県ハンドボール協会と沼津工業高等専門学校が主幹のもとで、静岡県の三島市と沼津市の両市民体育館を用いて開催された。北は北海道から南は九州まで全国8地区の予選を勝ち抜き選抜された12チームが参加し、トーナメント方式により激戦が繰り広げられた。

大会の様子をご紹介します前に、

高等専門学校およびそこにおけるハンドボール部の現況について少し紹介させていただく。高等専門学校は、我が国の産業の発展と、

科学技術教育のより一層の振興を図るために、昭和37年度に新しい高等教育機関として創設され、中学校卒業程度を入学資格とし5年制の一貫教育を行なう特色ある学校である。15歳(1年生)から20歳(5年生)までの年齢層の学生があり、高等学校と大学の両者の様相を併せ持っている。低学年から実技教育を豊富に取り入れ、理論を実践面に活かすことのできる

技術者を育てるべく実躍的技術教育を行なっている。学校の規模としては平均して1学年4〜5クラスで、全学年で800〜1000人程度の学生数である。多くの卒業生は企業や官公庁に就職するが、最近では進学する者も増え10〜20%の卒業生が主たる国立大学等の3年次に編入学している。

高等専門学校は、現在全国に62校あり、国立が54、公立が4、私立が4校である。そのうちハンドボール部を有するのは36校である。全国を8地区(北海道、東北、関東信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州)に区分し、7月中旬にそれぞれの地区で地区大会を開催しハンドボール部を有する高専の数等に応じて一地区1〜3校の代表校が全国大会に選抜される。また、当年度の主管校も全国大会の出場資格が与えられ、総勢13校が全国大会に集まる。本年度は、北海道地区(釧路高専)、東北地区(秋田高専)、関東信越地区(育英高専、東京高専)、東海北陸地区(豊田高専、岐阜高専、石川高専)、近畿地区(大阪府立高専、明石高専)、中国地区(呉高専)、四国地区は不参加、九州地区(八代高専)および主管校(沼津高専)の12校が本大会に出場した。



1回戦の明石対呉の試合

開会式は8月25日午前9時より三島市民体育館に於て出場12チームの全選手が参加して行なわれた。昨年度の優勝校(八代高専)、準優勝(富山高専)より優勝杯、準優勝トロフィーが返還され、レプリカが授与された。また、主管校の沼



閉会式で表彰を受ける初優勝を飾った豊田のメンバー

津高専ハンドボール部主将落合久雄君が力強く選手宣誓を行なった。開会式後、三島と沼津の両体育館に分かれて、第1日目は2回戦までの8試合が行なわれた。序盤は各チームに固さもみられたが、次第に雰囲気にも慣れスムーズな

動きになった。勝ち残った4チームが第2日目の準決勝へ進出した。二連覇を目指す八代高専と動きの速い豊田高専、守りの堅い石川高専とシュート力のある沼津高専が準決勝を戦った。八代高専は前半終了間際に1点差まで迫りながらも、後半開始早々に豊田高専の速攻を許し、反撃のムードに水をさされ20-14で敗れ、二連覇の望みは絶たれた。準決勝のもう1試合は、石川高専が左右にボールを回しながら着実に得点し前半を7-5とリードしたが、後半沼津高専



2回戦の岐阜対八代

はディフェンスを引き締め、ミドルシュート・ポストプレー等により得点し、1点を競う白熱したゲーム展開となり、結局追い上げムードの沼津高専が勝利を手にした。豊田、沼津の両高専共に決勝には初の進出で、東海地区同士の決勝戦となった。攻めのキツカケをつかみきれない沼津高専に対し、前半豊田高専は速いパスと速攻で主導権を握り、後半はほぼ互角の試合展開となった。結局前半のリードが試合を左右し25-17で豊田高専が第16代のチャンピオンの座についた。2日間ではあったが暑さを吹き飛ばすほどの爽やかな印



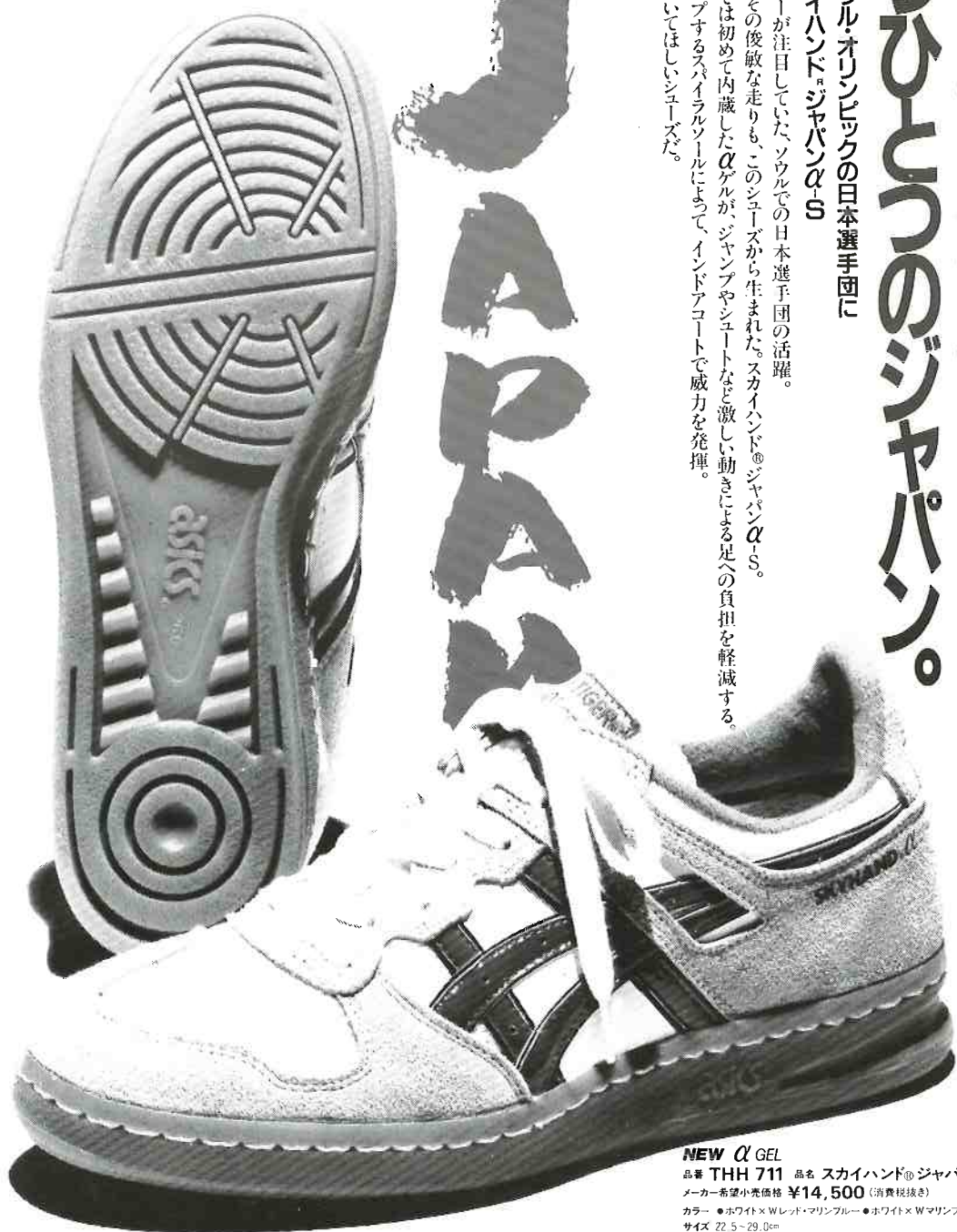
準優勝の表彰を受ける沼津

象を残して、大会は幕を閉じた。高専ハンドボール部の活動は年々充実しつつあるが、全国高専の半数強にしかクラブは存在していないのが実状である。今後は高専ハンドボールを益々発展させるためには、新たなクラブの設立および選手強化に力を注がなければならず、ハンドボール協会をはじめ関係各方面のご支援をさらに仰ぐ次第である。最後に、本大会開催に当たり、多大なご尽力を賜りました日本ハンドボール協会・静岡県ハンドボール協会ならびに関係各位に厚くお礼申し上げます。

ソウルで活躍した、 もっぴとこのジャパン。

これが頂点。ソウルオリンピックの日本選手団に
採用されたスカイハンド®ジャパンα-S

すべてのハンドボーラーが注目していた、ソウルでの日本選手団の活躍。
その鋭い切れ味も、その俊敏な走りも、このシューズから生まれた。スカイハンド®ジャパンα-S。
ハンドボールシューズでは初めて内蔵したαゲルが、ジャンプやシュートなど激しい動きによる足への負担を軽減する。
吸いつくようにグリップするスパイラルソールによって、インドアコートで威力を発揮。
これは、胸をはって履いてほしいシューズだ。



NEW α GEL

品番 THH 711 品名 スカイハンド® ジャパンα-S

メーカー希望小売価格 ¥14,500 (消費税抜き)

カラー ●ホワイト×Wレッド・マリンブルー ●ホワイト×Wマリンブルー・レッド
サイズ 22.5~29.0cm

asics TIGER

●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックス消費者相談室までどうぞ
〒650 神戸市中央区東釜石町7丁目1番1 TEL (078) 303-2233(専用)・(078) 303-3333(大代表) 株式会社 アシックス
〒130 東京都東区錦糸4丁目10番11号 TEL (03) 624-1814(専用)・(03) 624-2221(大代表)
●Rは®アシックスの登録商標です

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』

第二九二号

昭和四十年六月
第三種郵便物認可

平成一年十月二十六日 印刷
平成一年十一月一日 発行

東京都渋谷区 一三六一
電話 代表 (一三六一) 一三六一
振替 東京 六五八三四八番
編集兼 安藤純光
発行人

定価三百五十拾円
(年間購読料
三千三百円)



桜田淳子は、東洋証券が、
好きになっちゃったみたいです。

10万円から始める、あかるい財テク

中期国債ファンド

公社債投資信託・追加型 (設定・運用は日興投信)



東洋証券

■本 店 〒103 東京都中央区日本橋1-20-5 ■電 話: 03(274)0211

■全国43支店 ■海 外: ロンドン・ニューヨーク・香港

■資本金: 総額2,900万円 ■東京・大阪・広島一部上場